



第1回町政モニター員調査結果報告

～広報「はりま」の現状とこれからについて～

昨年11月に広報「はりま」の現状と課題をお知らせした上で、ご意見をいただきました。その寄せられた声の中から一部を紹介します。

▶問い合わせ 企画調整課 ☎0794 (35) 0356

※紹介しているご意見は、誌面スペースの都合から一部を抜き出して掲載しています。

広報誌の内容

皆さんが広報に求める情報として、「福祉や暮らしなど生活に関する情報」や「制度や手続きの紹介」が高く、その次に「イベントや募集の情報」が高いようです。また、「町の重要施策の解説」の項目も関心が高いようです。

- 公共施設などで行われるイベントや講演会の情報を充実させてほしい。また福祉や税の制度解説など、もっと分かりやすく掲載してください。(多数の方)
- 周囲の人たちに聞くと全部は読まないが、必要な所は読んでいるという人が多いので、「情報のペーシ」を充実(文字を大きくする、行間を少し広げるなど読みやすくする工夫)してほしい。(男・野添・57)
- 財政状況については、何回かに分けてでも詳しく説明してほしいです。土木費に一番お金を使っていますが、具体的に何をどうすればこれだけのお金がかかるのかなど、「ばっ」と見て分かりやすいことが一番です。身近な建物や道路を例に出していただければ分かりやすいです。(女・北本荘・36)
- 行政サイトの視点ではなく、住民が理解しやすいような内容、文章に置き換える必要がある。例えば、財政報告書や行政計画

- 資料などは、住民が分かるように書き直して載せるべきだと思う。(男・北本荘・54)
- 相談コーナーの内容をプライバシーの侵害にならない程度にどのような相談があったのか、またその返答などを教えてもらえば、同じ悩みの人がいるかもしれないので参考になる。(女・野添・56)
- トピックスのペーシを増やし、もっと身近な事を掲載してほしい。また、上下水道の指定業者名の掲載は、半期に一回くらいでよいと思います。(男・二子・55)
- きゃんばすだよりが好きですね。写真はもう少し顔がはっきり分かる大きさにしてほしいと思います。(男・宮北・50)
- リレーエッセイは毎号読みます。自分とはまったく違う世代の方、特に普段お話しする機会のない年配の方の人生話は、ためになります。(女・大中・21)

- 「親子で楽しむ町内の文化財」こんなのみつけた！が良い。普段目にしない場所の写真は、とても新鮮です。(男・野添・22)
- 町内で起こった犯罪件数とか、またそれらに対する役場の取り組みを紹介してほしい。(男・野添・36)
- 町の施設や、リサイクルプラザでの催しなど、もっと知ってもらえれば活用できる施設があるのにお知らせ不足。相談をするための連絡先なども一覧にして分かりやすく毎号載せてはどうですか。(女・野添・50)
- 「スポーツクラブ21はりま」の活動状況などが分かればいいと思います。(女・南大中・47)
- 町役場の仕事の内容や、担当者を紹介するような役場の業務紹介があってもよいのでは。(男・二子・52)
- 用紙は上質のものでなく経費を減らし、情報のペーシを増やしてほしい。(女・野添・56)
- 制度や手続きなどは保存版として発行し、イベントや募集の情報などは定期刊行版とし大きな1枚の紙とし折りたたんで発行してほしい。(男・北本荘・57)

広報誌づくり

「情報の見やすさ、分かりやすさ」を求める声が多いようです。今後はより一層、少子高齢化社会や情報化社会に対応した誌面を目指します。

- 老眼が入ってきているので、読みづらい。読みたくても小さな文字でこちゃこちゃしているだけで読む気も失せます。(女・野添・45)
- 生活に関する情報、制度や手続きについては特に力を入れて、誰でも理解しやすい文面を作ることが望まれます。(女・野添・50)

- 高齢者には字を大きく、外来語を多用せずに見やすい、読みやすいレイアウトを心掛ける。子どものうちから町を知るために、広報誌のちびっこ版を作る。広報誌を読む習慣が備わるのではないのでしょうか。(男・宮北・42)

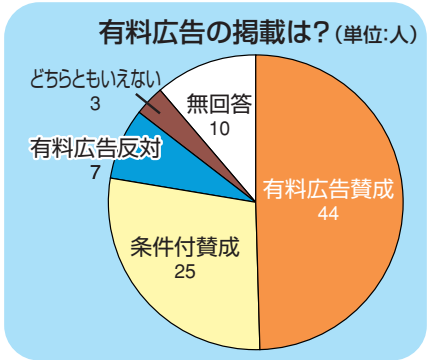
- 若い世代の人が読みたいくなるようなコーナーを作成してほしい。今の広報は、1回読んでからまた読むという気がしない。情報を載せているだけという月もある。(男・大中・25)

- 必要な情報の共有部分を特に分かりやすく見開きペーシ巻頭へもってくるなど、読んでもらう

広報の配布方法

大半の方が現在の各戸配布を望んでいる結果でした。一方、若い世代では「インターネットで充分。必要な情報は自ら取りに行く」という意見もありました。

- 地域みんなの「情報の共有」という理念でみれば、やはり全戸配布を継続するのが望ましいと思います。全戸配布を中止すれば今よりもっと悪い状態になると思います。(多数)
- ホームページで広報誌を見るのはとてもよい方法だと思いますが、まだまだパソコンのないお宅や高齢の方とか時期尚早だと思います。(女・野添・63)
- 今は届けられれば見るが、自分から求めるといって感じでもないの目に入らなければ見ないかも。(女・南大中・47)
- IT社会が先進している現在、



このような紙は無駄であると思えます。パソコンを持っていない町民(高齢者)には従来通り配布し、パソコンを持っている人には町のホームページを見てもらうという方向でいけばいいのではないのでしょうか？ 駅やコンビニに設置しても取らない人がほとんどだと思います。(男・二子・28)

広報誌に有料広告を掲載するメリット

賛成意見が多くを占めていましたが、「一定のルールの下で」というような何らかの条件を求めている意見が見受けられました。

- 町と住民のかけ橋になっている広報誌。経費面を考え有料広告を掲載しても問題は無いと思います。地元企業の活性化になれば、もっとよいと思います。(男・二子・36)

反対意見

- あまり広告は入れてほしくない。大切な情報が満載されているのでよく読んでいますが、誌面はシンプルの方が読みやすい。(女・野添・63)

担当者からひとこと

この広報「はりま」の調査にご回答いただいた皆さん、本当にご協力ありがとうございました。今後はお寄せいただいたご意見を踏まえた広報誌の作成を行い、より身近で役立つ広報誌を目指したいと考えています。なお窓口や手紙、またメールなどでもご意見は随時受け付けておりますので、お気軽にお寄せください。